

なみえ

議会だより

2005・2・7

107号



12月定例会

14人が登壇 活発な議論!!

◆ 主 　　な 　　議 　　案	2
◆ 視 　　点 ・ 論 　　点 (株)東遊記出資決まる	3
◆ 一 　　般 　　質 　　問	4～17
◆ 請 　　願 　　者 　　登 　　場	18

12月定例議会

平成 16 年第 4 回浪江町議会定例会が 12 月 14 日から 12 月 22 日までの 9 日間の会期で開催され、一般質問には 14 人が登壇するなど活発な論戦が交わされました。

今議会に提案された議案は、16 年度一般会計補正予算、浪江町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定など 12 の議案、議員発議による意見書 5 件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

請願・陳情では、請願書 2 件(採択)、陳情書 3 件(採択)が審議され、意見書 5 件を関係機関に提出しました。

また、議会運営委員会、地域共生型電源開発特別委員会の視察研修報告が委員長よりありました。

提出された主な議案

補正予算について

① 一般会計

歳入・歳出それぞれ 500 万円を減額し、総額を 81 億 200 万円としました。歳入の主なもの、職員の異動等により 1140 万円、浪小大規模改修事業完了により 1597 万円、中山間地域直接支払事業が確定により 604 万円の減額です。歳出の主なものは台風による災害復旧費 1140 万円、小学校教科書改訂教材費 980 万円、株式会社東遊記出資金 350 万円の増額などです。

② 公共下水道事業特別会計

歳入・歳出それぞれ 700 万円を追加し、総額を 8 億 2802 万円としました。歳入で受益者負担金 700 万円の増、歳出で人件費 320 万円の減、移転補償費 500 万円の減、予備費充当が 1779 万円であります。

③ 農業集落排水事業特別会計

歳出で職員人件費 252 万

円の減、臨時事務補助員賃金 32 万円の増、予備費充当が 220 万円であります。

(賛成多数で可決)

④ 水道事業会計

収益的支出で人件費 81 万円の減、事務経費等 155 万円の増、営業外費用で 79 万円の増であり、資本的収入及び支出は収入の部で工事負担金 500 万円の減、支出は工事請負費 300 万円の減であります。

(賛成多数で可決)

条例改正

○職員の寒冷地手当を段階的に廃止・削減する。

(賛成多数で可決)

条例の制定

○インターネットで各種申請と届け出が出来ます。

ふくしま県市町村共同電子申請システムが運用開始され、各種申請や届出が行えるようになります。

(全会一致で可決)

小学校にパソコン 132 台購入

小学校の情報教育の充実のため、ノート型パソコン 97 台、デスクトップ型 35 台、液晶プロジェクター 21 台を 6 小学校に配置します。

(全会一致で可決)

契約金額は、2656 万 5000 円で双葉事務器浪江営業所と締結致しました。

人事

教育委員会委員の任命

教育委員会委員に

佐々木 保彦 氏

を選任することについて

同意しました。

人権擁護委員

法務大臣委嘱の人権擁護委員として

員として

苅宿 祝子 氏

佐々木 祐之 氏

を適任者として推薦されました。

中心市街地の町づくり 株式会社東遊記に町が出資

12月定例議会の最終日、12月22日、浪江町商工会TMO設立準備委員会が町に対して支援要請していた「タウンマネジメント機関」(TMO)株式会社東遊記設立のために、浪江町が35%(350万円)出資の是非をめぐり、休憩をはさみ、全員協議会で当局の説明を受け、あるべき町づくりの方向について真剣な議論がかわされました。(賛成多数で可決) 主な、視点・論点を紹介します。

論点1

なぜ浪江町が
三分の一以上の出資か

賛成意見

民間と激しく競合するような事業を「株式会社東遊記」がやるというたときに、町が拒否権を発することが出来る。

反対意見

「株式会社東遊記」の定款には、不動産の売買・公有駐車場の管理・損保・生命保険・飲食店経営・保育所経営など同業者との競合や、駐車場の有料化につながり、行政サービスの低下が心配される。

論点2

TMOと町づくりの
方向は

賛成意見

このままでは、中心市街地がさびれていく。今回は完璧な株式会社で経営責任と自覚をもってやってもらえるので大賛成。

反対意見

町づくりは、将来を見据えた重要な案件。どういう受け皿がよいか、急いで予算計上するのではなく、しっかりと議論と調査検討が必要。

視点

TMO設立支援要請
と議会の対応

どの様な支援要請か

〈要請1〉町からの出資希望額
350万円を

★出資予定額

浪江町 350万円(35%)
町商工会 150万円(15%)
設立発起人10名

公 募 250万円(25%)
250万円(25%)
★設立出資金合計

※地方公共団体の出資三分の一
で監査権が発生する。

〈要請2〉町からの人材配置を

★専従の係2名を庁内に設置して
いただきたい。

〈要請3〉指定管理者制度の条
例制定を

★指定管理者制度を活用して、
TMOが中心市街地内の公有
財産管理が可能となるようお
願いします。

〈要請4〉TMO設立後の町有
財産の活用要望

★活用したい財産等
新町ふれあい広場、駅前駐車場、
駅前交通広場内駐車場、貯
木場跡地、公民館跡、eーまち
タクシーぐるりんこの移管など
です。

〈要請5〉初動期(おおむね3
力年間)の事業運営
費支援を

★事務所設置費用、まち情報セ
ンター移転費用、販売費及び
一般管理費の三分の二相当額
をお願いします。

議会の対応 付帯議決事項

1、町は、TMOが有効に事業
を実施できるように必要に応じ
て協議の場を設けるとともに
に、適切な助言・指導に努め
ること。

2、町は、TMOから財政的・
人的支援要請がある場合は、
十分検討し、事前にその概要
を議会に説明すること。

3、町は、中心市街地活性化事
業を円滑に推進できるよう、
TMOはじめ民間活力を積極
的に取り入れるとともに、民
間の活力を最大限発揮できる
体制づくりに努めること。

【TMO制度とは】

空洞化が進む中心市街地の活
性を図り、地域の創意工夫を
生かせるような国の制度で、そ
のためには、一定の要件を満た
し町に認められた団体が、株式
会社の形をとり、中心市街地の
活性化につながる事業に取り組
む組織です。

安心安全のまちづくりを!!

橋爪 光雄みつお 議員



災害対策の見直しを図れ

質問

10月23日、震度7強の揺れで、大きな被害をもたらした新潟県中越地震、被害にあった各市町村では、防災計画の見直し検討が必要とされている。町は災害対策の見直し検討をしているのか。

町長

防災計画の検討が必要です。今後の最新情報を確認し、地域に密着した地域防災計画を検討してまいります。



避難場所（加倉運動公園）

質問

施設の避難場所は耐震改修されているのか。

建設課長

避難施設は37カ所あり、21カ所が耐震構造になっています。

質問

災害弱者を守るために避難経路は整備されているのか。

住民生活課長

被害弱者の救済名簿は作成しており、消防団に連絡しています。避難道の整備は中期計画の中で進めています。各地域に自主防災組織作りをお願いしています。

照明の整備と設置計画を図れ

質問

ふれあいセンターなみえ運動公園に照明の増設計画はないのか。

生涯学習課長

4000ワット1基を設置しています。増設については今後の検討課題とします。

質問

国道114号線権現堂佐屋前と川添宮の上下道に、照明の設置計画はないのか。

建設課長

県の管理下ですが、早速県に強く要望してまいります。

介護予防支援計画の強化を図れ

質問

要介護者の支援実態は、どのような成果が出ているのか。

健康福祉課長

本年10月末までの介護サービスの利用者は、要支援62名、要介護1が126名、要介護2が88名、要介護3が84名、要介護4が97名、要介護5が89名で合計546名となっています。

町では、転倒予防教室を11月末までに12回開催し、延べ173名が参加しています。痴呆予防教室での講演会も10回開催し、延べ215名が参加しており、昨年度と比較しても多くの参加者を見えています。

浪江小学校グラウンドの砂の飛散について

佐々木恵寿けいじ 議員



質問

浪江小学校のグラウンドの砂の飛散については、浪江小学校周辺の住民からその対策を

講じてほしいという要望が強く、特に学校東側の住民は被害者という認識に立っている状況であります。現在のグラウンドにした理由をお聞かせください。

教育総務課長

グラウンドの土が固かったため、児童が転倒しけがをす
るといったことがあったため
です。平成10年度浪江小学校校



移動式スプリンクラー（浪江小）

庭整備事業として改修工事をおこないました。

質問

砂が飛散し近隣の被害者に対し加害者としての認識があるか。

教育総務課長

砂の飛散は把握しています。移動式スプリンクラーと職員によるポンプ散水などをして砂の飛散を防止してきました。改修の目的が転倒しても怪我をしない校庭づくりにあったので飛散があるものの初期の目的には合致していると思います。

質問

砂の飛散がないよう対策を講じる予定がありますか。

教育総務課長

砂が飛散しているという現状には近隣のかたがたには大変迷惑をかけ申し訳ないと思っております。飛砂対策に効果のある方法を検討していきます。

新町ふれあい広場の運用について

企画調整課長

聞かせただきたいと思えます。

質問

芝生の部分をなくしてすべ
て駐車スペースに改良する計
画はないかお聞きします。

産業振興課長

施設利用にあたって駐車場
の一部が長時間の使用により
利用に支障をきたすなど管理
を含め改善すべき点も出てき
ています。

質問

池をなくす予定はないかお
聞きたいします。

産業振興課長

今後の活用の中で不便な
部分については改善を図って
まいります。また、施設の管
理については駐車場を含め有
効利用が可能な団体に委託を
協議したいと考えています。

町民アンケート調査について

質問

結果をどうとらえるのかお

企画調整課長

現在、単純集計が終わった
ところであり、今後クロス集
計をしながらさらに分析をし
ていく予定になっていきます。

地区別、年齢別とも偏りのな
いサンプルをとれたのは予想
以上の成果でした。

質問

長期総合計画にどう反映さ
せますか。

企画調整課長

当然ながらアンケート結
果は反映されます。各課にお
いて、今後の事業展開を見据
えた上で、しっかりとした議
論をするようお願いをしてい
ます。

質問

アンケート調査の結果によ
り合併をどうとらえますか。

町長

アンケート調査の合併につ
いての結果は、そろそろ結論
を出せとのご指摘だと認識し
ております。合併の行動につ
いては慎重の上に慎重を期し
て対応してまいります。

「小丸熊ノ沢地内の土砂崩れ事故」と「県道落合浪江線」について問う

田尻 良作りょうさく 議員



土砂崩落について

質問

- (1) 今回の土砂崩れ災害は、人為的災害と報道されたが、
- (2) 二次崩落の危険性はないのか。防護柵等の安全対策はどのように考えているのか。
- (3) 車両が安心して通行できる道路の完全復旧は、いつになるのか。

町長

(1) 今回の崩落現場は人の私有地であり、土地の所有者が無届で私道造成などの開発



土砂くずれ災害現場の調査

をし、これが引き金となり、今回の山腹崩落事故に至った理由です。その後、県と

町、土地所有者の協議で、土地所有者が現場の土砂撤去を行ったのち福島県が県

道防護工事を実施します。

- (2) 二次崩落の危険性についても心配な状況なので、県道落合浪江線の交通安全の確保を最優先に県に要望します。

- (3) 道路の完全復旧は、最終的には県の防護柵設置工事となるので県の関係機関に対してあらゆる方策を検討し要請します。

県道落合浪江線について

質問

- (1) 通行止めにされた小丸・畑川・三程地区住民の町の対応は、特に迂回路対策はどのように講じたのか。
- (2) 度々ある県道落合浪江線の通行止めについて伺います。

建設課長

(1) 県道落合浪江線は、富岡土木事務所が管理しております。交通止めについては、畑川・小丸行政区長からの要望で直接電話または、防災無線でお知らせしています。ご指摘の迂回路につい

ては、町道室原小丸北沢線を迂回路としていますが、狭隘な区間が多く、かなり路面が傷んでいるので早急に応急措置をします。

- (2) 県道落合浪江線は、昭和51年に異常気象時通行規制区に指定されており積算雨量122ミリ以上の場合または、危険箇所事故発生などで通行止めになります。通勤、通学に色々と支障をきたしているが、安全第一で理解を願います。

質問

県道落合浪江線の整備について町長の考えは。

町長

今の社会情勢から大幅な改良工事は難しい。私はあの地域の開発のためには、観光道路として、待避所を増やし、駐車場の整備を図る考えであります。

郵政公社の民営化と農協の合併を問う!!

紺野 榮重 議員
えいしげ



行政改革の進め方について

質問

横山町政2年目を迎え基本的にどのような方針で臨まれますのか伺いたい。

町長

透明性、先進性、さらに独自性を基本理念に行財政改革を推進してまいります。

質問

町の非常時の財政調整基金は非常に重要です。町としていくらあれば適当とかがえられますか、現在財政調整基金はいくらありますか。

総務課長

金はいくらありますか。標準財政規模の10%といわれており、標準財政規模は48億4400万円ですので4億9000万円程度と考えます。基金の額は本年度末で7億2262万円の見込みです。

質問

行政改革は審議会に諮問して答申を求めるべきではないか。

町長

17年度中には行政改革推進委員会に諮問いたします。

質問

行政区でやれる部分と町でやる部分の枠組みを考えるとどうか伺います。

総務課長

町と行政区の役割を今後明確にしていかなければならないと考えております。自分の地域は自分たちで守り育てる

郵政公社の民営化、双葉郡農協の合併の件

質問

郵政公社の民営化をどのように考えられるか。

総務課長

窓口サービス、郵便、郵便貯金、簡易保険を分社化されることにより、経営の自由度も高まり、多様なサービスが安価で提供できれば住民のためになると思われま

質問

民営化された場合浪江地区はどのように予想されるのか。

総務課長

具体的な影響については現在どのようなようになっていくか推移を見守って行きます。

質問

完全に民営化されれば津島のような所は大変になりま

町長

時間をかけて民営化を進められるように訴えていただきたいと思

質問

れるように活動を促したい。農協支所の統廃合をどのように考え、対策をどう考えられますか。

産業振興課長

平成17年3月1日南双葉、大熊、ふたばの3JAが合併されますが、平成17年度は各支所を存続して対応とのことですので経過を見守りたいと思います。



幾世橋郵便局

大規模地震に対する 危機管理と安全対策について

佐藤 文子ふみこ 議員



所は安全か、避難場所までの時間を周知しているのか。

住民生活課長

町総合防災訓練の中で毎年、請戸地区消防団を中心に、広報、地域住民の誘導等の訓練をしている。請戸には4カ所の避難場所を設けている。被害の状況によってどこに避難するかを即時指定していきます。

質問

2つの河川近隣の避難訓練は、同時に訓練する必要があらぬのではないか。

住民生活課長

同時に2つの河川で訓練を実施したことはない。訓練する際に場所の広さとか条件があり、今後は多くの方に参加していただく趣旨から場所を変えての訓練も考えていきます。

質問

町総合防災訓練をいつも決まった時間帯ではなく、例えば

ば深夜、早朝、夕方等、多様な時間帯での訓練を試みては。

町長

実際問題として町民の協力の得られる時間に限られているので難しいが、夜中の防災訓練については可能かどうか慎重に検討してまいります。

質問

現在の保存版『わが家の防災マニュアル』は解かりづらい。改正してもつと字を大きく見やすくし、地域ごとに避難場所までの時間やルートを書き込めるような、いざという時に役立つものにするべきです。

住民生活課長

マニュアルの冊子を改正する件は検討させていただきます。

質問

小中学校の児童生徒の登下校時の安全対策は？また、支給している防犯ベルの誤作動のチェックや、使い方の説明会は。



町総合防災訓練

教育総務課長

子ども110番の家の設置や、警察と学校との連絡を密にとり、声かけ事犯や不審者に関する情報を相互連絡しあい安全確保に力を入れている。防犯ベルは16年3月に配布の時と、新入生入学時に指導をしています。

質問

開かれた学校を目指した取り組みは。

教育長

現在、大堀小、浪江小、津島小に学校評議委員会が設置されて、有効に機能している。浪江町に関しては各小学校長の判断に設置の有無を任せている。なぜかいうと全校設置を強制しても機能しない市町村が事例としてあるからです。学社融合授業というのが成果をあげている。

住民生活課長
地元消防団、または自主防災組織の協力を得て、町職員が出向くまでの対策に当たってもらいます。
自主防災組織については現在、苅宿地区と藤橋地区が組織化されており、もう一カ所話が煮詰まりつつある。
質問
請戸地区の津波による被害の避難訓練は。また、避難場

改正都市計画法に基づいた街づくりの推進について

小黒 敬三 議員



郊外大型店の立地の現況と問題点は

質問

○郊外部において土地利用規制が緩やかなことから、国道6号線沿いに大型店が次々と出店し、さらに大熊町へ売場面積2万3千平方メートルの出店計画がある。(現在、改正都市計画法により、自治体の長で判断で規制ができるようになりました。)

○この郊外立地により、都市機能のスプロール化、優良農地や景観の優れた地域の消失、地元商店街の衰退と、多面的機能(農業と同じように)の喪失がおこっている。

○これからの店は商圏が複数の市町村にまたがっているため、町独自の商業振興策が立てられなくなり、政策の選択肢が制限される。

○中心市街地の空洞化が地域コミュニティの衰退を招き防災防犯の自治機能の低下と行政コストの増大をもたらす。

○改正都市計画法に基づいた特別用途地区の指定、いわゆるゾーニング的手法の活用によって計画的な街づくりを図っていく。

○大型店立地法上、出店調整をすることは禁止されており、

あくまでもまちづくりの観点から行う調整であること
を明確にする必要がある。

以上の点をふまえ、作成中の長期総合計画に特別用途地区指定によるまちづくりを盛り込む考えは。

町長

まちづくりを考える中で中心市街地の活性化を取り入れながら、かつ消費者にも配慮したものを進めてまいりたい。法律によって規制される

ものはそうあるべきと思っております。長期計画の中に特別用途地区の指定については、慎重に対応したいと考えております。

地域「ブランド」と職員研修

質問

「ブランド」という概念は、民間企業経営の中核をなす戦略ですが、地方自治体においても地方分権の進展とともに、地域間競争に打ち勝つための方策の一つとして「ブランド」が注目されています。観光の振興をより具体化する為には地域「ブランド」強化策としての職員研修の考えは。

町長

町としてもそれをつくりあげることに今後勢力を割く考えです。職員研修計画があり、予算と相談のうえ、選択肢を広げたいと考えます。



空洞化が進む中心市街地

町民アンケート結果と 長期総合計画について

鈴木

たつゆき
辰行 議員



アンケート結果を 町の長期総合計画 にどう生かすのか

質問

老後の不安、医療関係施設が不足、就業する場が少ないと、多くの町民が訴えております。これらをどのように長期計画に生かされるのか。また、生活道路や上水道等のインフラ整備をどのように計画に組み込まれるのか。

企画調整課長

老後の制度改正が激しく、捉えきれない部分もあり、調

「まちづくり懇談会」の在り方・効果は

質問

査分析して必要な事業を検討します。医療施設については担当課で検討を開始したところですが、企業誘致・職場の確保を重点に施策を検討しております。

2年に1度の開催、区長会長を中心に取りまとめられ、事前に提出された要望・提案事項の質疑応答、執行者と20人ものスタッフで、開催される懇談会でよいのでしょうか。もっと町民が「まちづくり」に参加していると、意識の持てる懇談会にするべきではないのか。

町長

これまで長年開催されてきた懇談会が、それほどの非難もなく、それなりの効果が



町民の声が反映されるまちづくり懇談会

あったことは報告されております。開催回数、開催地について庁内で検討され、区長さん方のご意見を聞いたところ、この程度でよいということ、今回の開催になりました。

懇談会の目的は、町民の意見を広く聞けることで、区長さん方に事前に要望を取りまとめたいは効率がよく、丁寧にお答えできること

介護保険料の 値上げは

質問

17年度に見直しされる介護保険料が、いくら値上げになるのか。利用者の個人負担が、いくら増えるのか。

健康福祉課長

給付実績、介護施設の整備等により、保険料が上がることは予想しております。現時点では、17年度の実績も勘案しなければなりませんので、具体的な金額を明言することはできないところです。

施設利用者の食費、居住費は保険給付費の対象外で、個人負担となります。個人部屋での施設利用者の個人負担は、月額3万円の負担増になります。ただ低所得者に対して、国が一定の基準を設け、負担の軽減、引き上げ幅の抑制をすることを検討しております。

であります。なお、今後のあり方については検討してまいります。

電源地域の振興策について

佐々木幸夫ゆきお議員



質問

原子力発電施設立地、地域振興特別措置法の概要と浪江町の事業計画の策定について、伺います。

企画調整課長

この法律は原子力発電所等の周辺地域について地域防災に配慮しつつ生活環境、産業基盤等の総合的整備振興を図ることを目的としたもので平成13年から施行されたもので平成16年度から22年度までを計画期間とするものであります。浪江町の計画策定の内容は、浪江町管内では県事業も含め25事業が盛り込まれており主な

浪江小高原原子力発電所建設計画について

質問

建設計画の現況と用地交渉の推移について伺います。

町長

昭和42年に誘致決議以来37年が経過し、その間立地促進のために努力された方々に敬意を表するものであります。現状では約97%の用地同意率であり事業者が用地交渉を進めているところであり、今後事業者の取り組む意思を注意深く関心を払ってまいります。

ものは、国道114号線の整備事業、県道広野小高線の整備事業等であり、今年度の特別措置で、浪江小学校の耐震補強工事が補助金増額となります。



改修工事が終了した浪江小



工事が進む
県道広野・小高線
(浜街道)

秋の長雨による農産物の 被害対策をどう図る!!

吉田 数博かずひろ
議員



くり交付金の活用、町単事業の助成制度で対応してまいります。

質問

秋の長雨による農産物の被害が甚大である。米作は倒伏や穂発芽、刈取りの遅れに伴う品質低下があり、大豆作は、かぶれや汚れ、紫斑病が発生ほとんどが規格外となっており。野菜においても、湿害によるブロッコリー等の被害が甚大であります。がどの様な対策をされるのか。

産業振興課長

昨年の冷害と異なり一部の被害にとどまっているので、農業共済制度の適用、浪江町水田ビジョンの産地づ



転作田大豆刈取作業（棚塩地区）

聖沢地区 登記問題について

質問

大柿ダム建設に伴い大字川添聖沢地区に移転された5名の方々の移転先の、共有地持分移転登記問題の現在の進捗状況、並びに登記完了後予定される、分割登記に伴う費用負担をどの様にされるのか。

産業振興課長

所有権移転登記65名中、未処理は3名であります。この3名の所有権等に関する登記調査を司法書士に委託し進めております。分割登記は通常移転者の費用負担で行われるものですが、現在までの30年間の経過を踏まえ、今後移転者と協議をしております。

大堀相馬焼きの 振興について

質問

浪江町伝統的工芸品産業活性化プランについて、どの様に対応されてきたのか、また町全体で大堀相馬焼の活用運動の展開、普及支援を行うべきであります。PRのために県外からの宿泊者や来訪者に粗品としてプレゼントができませんか。また期待されオープンした陶芸の杜おおぼりの運営状況は計画通りに推移されているのか。

町長

町全体で大堀相馬焼の良さを見直す対策、及び推奨を図ってまいります。粗品のプレゼントについては早急に検討してまいります。陶芸の杜おおぼりの運営は順調であり来訪者は14年度が6万1千名、15年度が4万5千名、16年度が前年度並みと推定されております。

114号拡幅の進捗状況は

佐々木英夫ひでお 議員



質問

114号の二期工事力所の移転について早期に進めるべきと思うが現状と今後の計画について。

町長

大幅な計画の変更はなく、今のところ計画通り進んでいるところ。国も県も非常に厳しい財政状況で、用地借の償還等が平成17年、18年度がピークとなり、全体的には数年ずれ込むことも考えられるかも知れません。第一工区の進行見込みがつき次第、速やかに第二工区にかかれるよう常々要望しています。

災害時における避難場所の確保は

質問

災害時（台風、地震、原発）の避難場所の確保と危機管理について。

住民生活課長

災害時ごとに分けると一般災害が13カ所、原子力災害関係が単独で7カ所、あと一般と原子力を含めた施設が17カ所で、合計37カ所の公共施設がなっています。

建設課長

避難場所施設の耐震建築については、耐震構造の施工が義務付けられているが耐震改修がなされていない公共施設が多々あると認識しているが、多額の事業費が見込まれるので、長期的な改築改修にすること考えます。

不法投棄の対策は

質問

不法投棄の現状と対策はあるのか、除去はどのようにするのか。

住民生活課長

平成15年度で不法投棄報告件数は38件あり、投棄場所については主に河川敷、田畑の畦畔、道路の脇があります。廃棄物については自転車、家電製品、タイヤ、空き缶、空き瓶であります。対策としては浪江環境衛生監視員が現在10名委嘱しており、町内の監視をしているところです。また不法投棄看板設置、防災無線のポイ捨て禁止啓発、広報等を行っており、除去としては監視員の通報により町職員が回収にあたっています。

町道、側溝等の維持補修は

質問

道路や側溝の危険カ所の維持補修と工事の計画については。

建設課長

側溝整備の要望が多い中で通学路等については、優先度が高いと考えている、補修工事の内容にもとるが側溝の新設となると用地の確保もあり、多額の工事費がかかることもあり今後は計画的な整備で対応していきたい。



114号線の拡幅工事（新町交差点付近）

中越大震災（直下型地震）と 原発の安全・防災対策を問う

馬場

いさお
績議員



質問

中央防災会議直下型地震対策専門調査会は、首都圏の直下型地震の切迫性について警告している。75 kmに及ぶ双葉活断層があるのに町の地域防災計画にはそのことが一言もない。

①直下型地震を想定した防災計画の見直しは。

②原発内の地震の観測体制と情報の確認システムは気象庁と連結しているのか。

住民生活課長

①県の防災マニュアル指導を組み合わせ、見直す考えです。



中越大震災 “SOS”

農業振興をどうする 遊休地の活用・水田 汎用化・ビニールハ ウスの助成検討を

質問

②原子炉建屋内に地震感知器（垂直加速度計）がありません。気象庁とは連結していないということですか。

①モノをつくってこそ農業、遊休農地解消と畑作助成の検討は。

②水田の汎用化対策とビニールハウス助成の検討は。

③水田農業地域づくり交付金の見直しは。

④堆肥センターの完成と有機農業の推進体制は。

産業振興課長

①県の遊休農地対策総合支援事業があり、集落単位の取り組みが必要となります。

②水田の湿害、排水対策として、県の水田畑作化対策事業があります。ビニールハウスについては町の上乗せ助成を検討します。

町営バス運行改善 と津島分校前バス 停の設置を

質問

③今年度の取り組みを検証し、見直す考えです。
④12月1日に浪江町環境保全型農業推進会議を発足。2名の専門委員と各団体、生産者一体で安全・安心の地域農業を推進します。

①利用の実態は。

②土・日曜日のバス運行は。

③浪校津島分校前にバス停の移設を。

住民生活課長

①4月1日から11月30日までの利用者は、延べ1万4088人。1日当たり93・6人、一便当たり7・8人です。

②今後、地域住民と協議検討してまいります。

③分校長との協議の中では、当分は現状のままでよいとの回答を得ております。

各調理場の状況

	平成 15 年度	平成 16 年度	
浪江西調理場 (浪江中学校) 浪江中学校 大堀小学校 苅野小学校 大堀幼稚園 苅野幼稚園	給 食 数	1 0 2 8 人	1 0 0 7 人
	購 入 食 材 費	2 9 4 4 万 円	1 7 9 4 万 円
	町内生産物受け入れ額	1 7 5 5 万 円	9 7 6 万 円
	給 食 数	6 3 0 人	6 4 2 人
	購 入 食 材 費	2 6 8 1 万 円	1 7 2 7 万 円
浪江東調理場 (請戸小学校) 浪江東中学校 幾世橋小学校 請戸小学校 請戸児童館	町内生産物受け入れ額	1 2 3 3 万 円	8 6 9 万 円
	給 食 数	1 7 7 人	1 6 4 人
	購 入 食 材 費	7 0 8 万 円	4 3 0 万 円
	町内生産物受け入れ額	3 4 5 万 円	2 2 5 万 円
	給 食 数	7 1 7 人	6 6 1 人
津島地区 共同調理場 (津島中学校) 津島中学校 津島小学校	購 入 食 材 費	2 6 1 9 万 円	1 5 7 0 万 円
	町内生産物受け入れ額	1 3 7 5 万 円	8 5 4 万 円
	給 食 数	7 1 7 人	6 6 1 人
	購 入 食 材 費	2 6 1 9 万 円	1 5 7 0 万 円
	町内生産物受け入れ額	1 3 7 5 万 円	8 5 4 万 円
浪江小学校 単独調理場 (浪江小学校) 浪江小学校	給 食 数	7 1 7 人	6 6 1 人
	購 入 食 材 費	2 6 1 9 万 円	1 5 7 0 万 円
	町内生産物受け入れ額	1 3 7 5 万 円	8 5 4 万 円
	給 食 数	7 1 7 人	6 6 1 人
	購 入 食 材 費	2 6 1 9 万 円	1 5 7 0 万 円



教育総務課長

質問
浪江町内の商工業者からの受け入れ費と町内生産物の食料費と食材計画作成事務処理について伺います。
学校給食の献立の作成を

して年度始めに教育委員会と納入業者で契約締結します。
食材計画作成は調理場ごとに、栄養士が作成し調理場長(学校長)の決裁の基に業務を行います。食材の発注先

学校給食は地産地消で

佐々木茂夫しげお 議員

町内の無人住宅対策を求める

質問

浪江町内の無人住宅戸数と防災管理はどうなっているのか。納税義務者の所在不明者と徴収体制について伺います。

町長

防火管理体制として調査票を精査の上、家主指導と行政区長への空き家管理、監視強化と消防署では定期的な巡回、点検とともに消防団への放火されない環境づくりの推進、放火、火災による被害の軽減対策に努めております。

は4つの調理場それぞれ食材の発注をしています。浪江東調理場でホッキゴ飯は好評でしたので、出来るだけ地元産品を使用していきます。

住民生活課長

10月1日現在の実態調査を実施しました。

地区別無人戸数

地域名	戸数
浪江地区	28戸
幾世橋地区	4戸
請戸地区	26戸
大堀地区	21戸
苅野地区	31戸
津島地区	13戸
合計	123戸

税務課長

納税義務者の所在不明者は郵送納税通知の所在不明返送件数は次の表の通りです。
転出者及び転出届出のない不明者については、近隣住民聞き取り、隣宅訪問徴収を実施しています。勤務先が確認できる方については、給与の差し押さえ、銀行預金調査・生命保険契約者調査による預金及び生命保険等の差し押さえの実施をしています。

漁業振興策について

渡部 貞信さだのぶ 議員



観光と連動した 漁業の振興は

質問

請戸漁港は、前浜に寒暖流が交差する好魚場の中にあつて沿岸漁業が営まれております。最盛期には160余隻の漁船を有し、漁獲量も7000トン、金額で13億7000万円の水揚げが見られておりました。しかし、近年の水揚げ状況は、平成10年漁獲量2834トン、金額で10億4500万円あったものが、平成15年では漁獲量2136トン25%減、金額5億8900万

円45%減と大変厳しい状況にあります。一次産業として重要な役割を担ってきた漁業の衰退は町にとつても大きな問題であります。

獲る漁業ばかりでなく築磯事業による浅海漁場の開発、藻場造成による資源の回復、さらに海洋牧場の設置、漁業と観光を連動した魚センター



観光との共生が期待される請戸漁港

の設置等、当町漁業の振興を図る上からも手を差し伸べてやるのが重要と考えますが町長の所見をお伺いします。

町長

請戸漁港に水揚げされる海産物は、浪江町の大きな観光資源と認識しています。海洋牧場、魚センターという話も在りましたが非常にいい提言と思います。今県から打診されている海の駅構想もありますが、漁業者、流通に関わる方々、行政の三位一体で前に進めるよう検討中であります。

災害時における 避難場所は

質問

避難場所の指定年度はいつか、指定場所は地域住民の方に周知されているのか。ヘリコプターの利用も考えられると思いますが、ヘリポートの設置はについてお伺いします。

住民生活課長

避難場所の指定年度は、昭和38年ですが地域防災変更と併せ避難場所の充実を図つ

ています。住民の周知については、広報紙、わが家の防災マニュアルということでご各戸配付しております。ヘリポートも8カ所指定されています。

質問

避難場所、マニュアルでは請戸地区は、請戸小学校、JA請戸支所、漁業組合、公民館請戸分館が指定されていますが、現実に津波、水害等発生した場合、海拔0メートル地域というところから活用できないと考えられる。地域によっては再考する必要があると思いますので検討願いたい。ドクターヘリということもできておりますので大平山を利用したヘリポートをつくるというようなお考えがあるかどうかお聞きしたい。

町長

災害対応するためのヘリポートは、8カ所以外には考えていない。社会情勢によってはドクターヘリについての重要性については無頓着であるわけにはいかない。ヘリポートの問題については、中長期的な課題として考えております。

新浪江町長期総合計画と 各種施策について

鈴木 正一まさかず 議員



町村合併について

質問

現在策定中の長期総合計画と町村合併政策の整合性、相関関係について質問します。

町長

町村合併するならば、これを抜きに新浪江町長期総合計画は成り立たない。その大きな柱になることは確かです。今後年度内を目途に結論を出してまいりたい。

質問

町長の答弁では、年度内に

町村合併の政策については結論をだしたいというお話でしたが、総合審議会の答申については「4月末か5月頃までに答申をお願いしたい」ということで諮問をした」ということであれば、どのように理解してよいのか。

町長

私が（町村合併政策の策定について）総合審議会の答申の前になる可能性もある。また後になる可能性もあると申し上げましたのは、これは一度ですむと考えてございません。まず打診を行って、しかるべき機会に何度か足を運ぶ、そういう作業が必要だということです。

公共下水道事業について

質問

新長期総合計画（平成17～26年度）のこの間の総事業費は58億749万4000円です。町長は昨年町長に就任の際、すべての事業の見直しを

やりますとお話しされていましたがどの様に対応されるのかお尋ねします。

上下水道課長

平成16年、17年にかけて全体計画の見直しを行っております。

新浪江町長期総合計画の中に間に合うよう、見直しを進めています。

公約実現にむけた進捗状況について

質問

公約は政治家の約束で第一

番目に尊重しなければならぬものです。特に、ごみ袋料金は1枚50円のうち35円町民が負担している。ごみ袋の町民負担総額は約3千500万円です。1円値下げすれば、浪江町は100万円負担しなくてはならない。現在の負担金は約2億円ですが、35円金額負担すると3千500万円浪江町の負担が増えます。町長は管理者会（郡内町村長の会）での再検討を約束されましたが、それらの進捗状況についてお尋ねします。

町長

町長交際費については今後は明確に（町広報に）掲載し、体育施設の料金については半額ぐらいにしたい。女性の登用については意識して登用を増やすようにしております。ごみ袋の料金については、私もお約束をしたことですので少しでも安くなるように今後も働きかけは続けたい。

質問（提案のみ）

浪江町出身の偉大な作曲家、佐々木俊一先生の朝・夕のチャイムになされたらどうか。



公共下水道工事（加倉柴田線）

インターネットコーナー

請願者登場

国営による郵便局を守る有志

代表者 菅野 寿男

郵政民営化に 反対するおもいは



私達は、これまで全国一律のサービスを
提供しそれを誇りとしてきました。民
営化になれば、窓口ネットワーク・郵便・
貯金・保険の4社に分割され、これまで
の一体化なサービスが出来なくなるから
です。

もし民営化された場合の 心配はなんですか



現在の国営による郵政事業が、株式会
社の経営にゆだねることになり、結果と
して採算のとれない過疎地の郵便局がな
くなってしまいます。現在の郵政公社の
形態を続けることが、国民の利便性にとつ
てもそれが一番よいことだと思います。

採 択

皆さんから出された 請願・陳情

採択された請願

○郵政民営化に反対する請願書

〔請願者〕

元請戸郵便局長 菅野 寿男
他1

○国に「緊急地域雇用創出特別
交付金の継続・改善を求める
意見書」提出を求める請願書

〔請願者〕

福島県労働組合総連合
議長 小川 英雄

採択された陳情

○町道改良に関する陳情書

〔陳情者〕

幾世橋区長 豊口 雄幸
他19

○「食料・農業・農村基本計画」
見直しに関する陳情書

〔陳情者〕

食とみどり、水を守る双葉郡
民会議
議長 関 友幸

○緊急地域雇用創出特別交付金
の継続・改善を求める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣 厚生労働大臣

○「食料・農業・農村基本計画」
見直しに関する意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣 農林水産大臣

○政府に「混合診療解禁・特定
療養費制度拡大に反対し、公
的医療保険制度の充実を求め
る意見書」の提出を求める陳
情書

〔陳情者〕

福島県保険医協会
理事長 伊藤 弦

○混合診療解禁・特定療養費制
度拡大に反対し、公的医療保
険制度の充実を求める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣 総務大臣
財務大臣 厚生労働大臣
内閣府特命担当大臣

議員発議の 意見書

○郵政民営化に反対する意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣 総務大臣

○平成17年度地方交付税所要総
額の確保に関する意見書

〔提出先〕

衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 内閣官房長官
総務大臣 財務大臣
経済財政政策担当大臣

委員会報告

議会運営 委員会

先進地視察研修を、16年7月5～7日に実施し、長野県須坂市と群馬県中之条町議会を視察しました。

両議会の参考になったことは①、一般質問通告締め切りが招集日の当日、前々日である。②発言順位を抽選で決める。③本会議、委員会開催中、昼食のための外出の禁止等、今後の議会運営に当たり十分検討していきたい。

地域共生型 電源開発 特別委員会

原子力と地域振興についての研修を、16年10月7～8日の2日間実施し、青森県東通原子力発電所、東通村を視察しました。

村庁舎を核とした新しい中心地形成に着手しており、当町も早期着工できるような町あげて取り組むべきであります。

原子力発電所の立地をきつかけとした人口の定住促進を目標とした、東通村新総合開発振興計画、東通村町並み・まちづくり支援事業の基本計画を策定し、



東通原子力発電所視察

議会活動の近況

【10月】

- 15日 議会報編集特別委員会
- 25日 双葉地方町村議会議員交流スポーツ大会
- 27～28日 広域圏総務委員会研修
- 28日 産業建設常任委員会現地調査

- 18日 埼玉県松伏町議会研修のため来町
- 19日 広域圏総務委員会
- 25日 双葉地方電源地域政策協議会
- 29日 広域圏議会運営委員会
- 第4回広域圏組合議会定例会

【11月】

- 1日 全員協議会 議会報編集特別委員会
- 4日 町村議会広報研修会
- 8日 第3回地方分権と三位一体改革の推進を求める総決起大会
- 9日 双葉地方町村議会議員研修
- 10日 栃木県南河内町議会研修のため来町
- 11日 栃木県西方町議会研修のため来町
- 15日 広域圏保健衛生委員会
- 16日 広域圏消防厚生委員会
- 17日 町村議会議長会全国大会
- 18日 議会運営委員会

【12月】

- 7日 道路特定財源確保のため国機関、地元国会議員に陳情
- 8日 議会運営委員会
- 14～22日 第4回浪江町定例議会
各常任委員会・議会報編集特別委員会
- 16日 全員協議会

【1月】

- 13日 文教厚生常任委員会
- 19日 地域共生型電源開発特別委員会
議会報編集特別委員会



水田転作作物 周年出荷をめざして

酒田字広畑52
渡部 泰明



私は水田17
5a、ねぎ94a、
かぼちゃ60a、
ブロッコリー60
a、春菊5aの
作付けをしています。ねぎは平成10年
度より水田転作の一環として機械化体
系ができる前提で冬場の現金収入確保
として秋冬ねぎから導入して、育苗は
全て農協で行いチェーンポットによる
芽出で定植して、収穫物は皮剥き機を
利用しています。当初はねぎの市況も
高値取引されて、順調に面積を増加し
ていきました。ところが、中国ねぎが

輸入されますと市況の下落にに応じて、
堆肥の導入、減化学肥料、減農薬栽培
を行っております。その点を市場から
消費者の皆さんに宣伝して頂き、付加
価値が付けられればと思っております。
そして、さらに有機栽培に達せら
れる様努力して、新鮮な早どりを行い、
市場からの信頼を勝ち得るために、「白
根部が真っ白で光沢があり綺麗で見映
えが良い」「赤さびが少ない」「葉折れ
が少ない」ねぎの導入で周年出荷を行
うことになりました。まさに日々太陽
に照らされた、柔らかい土壌の四季を
感じて、一年中農作物の収穫が出来る
様になり、転作水田から育つ野菜は安
全でおいしい食物として食卓に飾れま
す。田園の中にたくましく育つ野菜は
働く事の楽しさを教えてくれています。

町おこしに 夢を馳せる男たち

権現堂字新町20
神長倉 豊 隆



TMOの準備委員会が開かれていた。
野馬追いを前に
した暑い夏のこ
と、浪江町商工
会の会議室では

中心市街地がこのままではどんどんと
廃れていく、何とかしないと：会議に
出ていたメンバーは同じ思いに駆られ
ていた。TMO全体の計画を検討しな
がらも：今、出来ることから始めたい。
とにかく少しでも町の中心部にお客様
に来ていただける何かが欲しい。ちょ
うど新町にふれあい広場も出来て、毎
月行えるイベントは出来ないかと検討
しました。結果、井戸川正伸氏の屋台
を中心に子どもたちが喜ぶ紙芝居やお
話し会をメインにして、野外演奏会や
陶芸教室などを加えてイベントを立ち
上げました。

名前は『マジ・マジフェスタ』マジ
(本気) マジ(元気) の意味が込めら
れました。マジマジは毎月第4の土・
日に12月まで毎月開かれました。いつ
も、街づくりを考え、そして悩み、激
論を交わしながら毎月のイベントや構
成を考え、皆、この町が好きだから：
です。町に活気が戻って欲しいと願い、
頑張っています。地域の皆さん、将来
を担う子どもたちのために積極的に町
に出てきませんか。地域のおじさんや
おばさんの顔がある：安心できる買物
やイベント、支えてくれるのは皆さん
です。「人と人とがふれあう優しい町づ
くり」を皆さんと一緒につくりあげま
せんか。私たちのマジマジは果てしな
い挑戦の第一歩です。

編集後記

スマトラ沖、M9の大地震、
津波による被害は、10数カ国、
21万人を超える死者、家などを
失った被災者は500万人超、
この未曾有の災害で、アジアの
先進国日本が、早めの人的支援
人道支援をすることが、一番望
まれているのではないのでしょ
うか、対応の遅れがどうなるの
かは判っていると思います。新
潟中越地震の復旧も、雪などで
なかなか進みません、雪と戦う
被災者を思うと心が痛みます。
2月3日は節分、鰯の頭を柵(ひ
いらぎ)の小枝にさして戸口に、
そして炒り豆を撒いて悪疫退散
・招福の行事を行う日、次の4
日は立春、古来はこの日から新
しい年の始まりとされておりま
した。今年が素晴らしい年である
ことをお祈りいたします。

議会報編集特別委員会

- 委員長 馬場 小黒
- 副委員長 鈴木 辰三
- 委員 渡部 貞行
- 橋爪 茂夫
- 佐々木 信行